

大用現前

筆入れ：高一郎代表

突然ですがこの度3ヶ月に一度のペースでの「大用現前」という社内報を発行する運びとなりました。この社内報を通じて経営層の本音の部分を引き出しお伝えするとともに皆様なかなか聞けないことをぜひ聞いて前向きと社員がより理解を深めカインズグループの活性化に一役買いたいと思います。また、カインズマンシップセミナーで生まれた様々な活動報告の場としても活用しますのでどうぞよろしくお楽しみします。

2010年4月16日発行
発行人：マツオ、オサムラ
(チームザビエル)

創刊号

代表インタビューから



「大用現前」を推進している自然の中の「大用現前」を推進している自然の中の

「お悩み解決！」
「1111」推進隊活動レポート
私たちの思い
活動が始まるにあたり、「11111」として活動する推進隊を作りたいと考えていた。しかし、「1111」推進隊というチーム名に決めた。「11111」について推進隊を推進しては、それらの解決を必ずしも、「1111」推進隊が解決するのではなく、自分たちが推進隊として活動して、自分たちに欠けているのは「11111」と思っています。小々な変化を感じています。カインズを通じて、自分たちが解決するべき課題は、自分たちが解決するべき課題です。

「1111」推進隊とは？
「1111」推進隊とは、私たちが、カインズマンシッププロジェクトの推進隊メンバーで、推進隊に所属している、生まれたチームの中から、「お悩み解決」「活動」を取組むこととして活動しています。

「1111」推進隊とは、私たちが、カインズマンシッププロジェクトの推進隊メンバーで、推進隊に所属している、生まれたチームの中から、「お悩み解決」「活動」を取組むこととして活動しています。カインズマンシップのリーダーシップに参加した人は、推進隊が活動するべき課題を解決し、会社を成長させていくことに貢献することが期待されています。

おすすめ!! BOOK
代表がおすすめする本を紹介するこのコーナーグループの進むべき道のヒントが隠されている！
『ビジネスの分野では運を掴むことも大切。運は自力が強いほど掴みやすい、ではどうやって自力を高めるのかを紹介する一冊。』
35歳までに必ずやるべきこと-運をつかむ人になれる-
重慶 達氏
今後は活動
自分たちの活動は、自分たちが活動するべき課題を解決するべき課題です。自分たちが活動するべき課題を解決するべき課題です。自分たちが活動するべき課題を解決するべき課題です。

昨年十一月に始まりました経営層セミナーについて、参加しているメンバー以外の方は「一体何なのか?と wondering のままに終わってしまったんじゃないでしょうか?」

新社会の経営者セミナーについてお話しします。今更にお話しする経営者セミナーは、カインズマンシッププロジェクトという名称で行われています。

これはカインズマンシッププロジェクト（以下カインズマンシップ）とは何なのか?と問うたときに「カインズマンシップは、経営者セミナーは、リーダークラスが参加するセミナーです。セミナーは、半年間行われ、カインズグループがより深い理解になるまで行われるから学び、具体的な活動計画の話し合いで決定し、社員と会社全体の責任を明確にしているのが目的であります。そして、この一

の大目的はこの研修を経て、まず参加メンバーが自分たちの役割を明確にし、グループの活動計画を話し合い、その上で活動計画を決定し、実行していく。そして、この活動計画を実行していく中で、カインズグループがより深い理解になるまで行われるから学び、具体的な活動計画の話し合いで決定し、社員と会社全体の責任を明確にしているのが目的であります。そして、この一

経営層、若手リーダーの経営セミナーが11月にスタート

られたものも、なかなかの白からであると思っています。それではこの2つのセミナーについて具体的に紹介致します。

まず経営者セミナーではまず、現在カインズグループにある状態、社員の実績、業績、そして自社の強み、課題、今後の経営方針、顧客の必要性について経営者の共通の認識を見出し、経営者の視点での経営計画をまとめるという活動が予定されています。

次に若手リーダーセミナーでの活動ですが、まずリーダーとしての役割について学び、カインズグループの目標を高め、何をしたら良いかなどについて、意見を交換し、4つのアクションプランを決定し活動しております。

一 人材育成制度の活用
二 OJTの仕組み
三 「お金の考え方の活動」
四 「代表の考え方の活動」活動
以上の4つのテーマ、一、二はお客様と活動内容がかわかるとおもいますが、三、四はなかなかわかっていないのでは無いでしょうか。三のお金解決策については活動チーム名「三三三」活動、三三三本部という活動内容について詳しくは、三三三本部にお問い合わせください。また、四の「代表の考え方の活動」については、活動計画を決定し、実行していく。そして、この活動計画を実行していく中で、カインズグループがより深い理解になるまで行われるから学び、具体的な活動計画の話し合いで決定し、社員と会社全体の責任を明確にしているのが目的であります。そして、この一

「大前提前」その活動の一端です。私たちは代表の考えや思いをいかに皆さんに伝えていくか、また自分自身がこの活動を通じていかに代表の考えを把握し行動できるかを考えて活動してもらいます。この活動はカインズグループ社員全員が同じ方向、同じ目的で仕事をすることで会社を強くした代表の考えを知ることで経営者と社員間のコミュニケーションを図り社員間の向上させることが目的です。

カインズの特長はまだまだカインズマンシップについてお伝えしきれておりません。今後このカインズマンシップ、セミナーは変わっても続きます。この「大前提前」を通じて皆さんの活動報告をさせていただきます。ぜひ活動報告をいただきたいと思いますので、宜しくお願い致します。



リーダーセミナー合席の様子

1問1答

Q フライベートで一番得意をしているのが楽しいですか?
A 代表 電車を見ている時(家族は怖い)であり、子供の日々の成長も楽しいです。

Q お休みの日は何をされていますか?
A 代表 1日は会社、1日は家族時間

Q 子供の頃に大人になったらやっていたことは何ですか?
A 代表 電車で日本一周、時刻表が好きなため、中学卒業した時に日本まで行って電車を乗り回していたことがあった。

Q 子供の頃に大人にならなくなった事は何ですか?
A 代表 野球選手、電車の運転手(一緒に野球をしていた友人が電車が好きな影響を受けた)

Q 一番注目していることは何ですか?
A 代表 全社員の成長

Q お子さんは何人欲しいですか?
A 代表 5人(結婚3人) 2人は男女は無し

ここでは経営層の方々にしかお聞きできないことを皆さんに代わり聞いてあげたいです。第一回は高一郎代表へ1問1答です。

Q 子供をお持ちの方が仕事持前の1週間をお話しいたします。
A 代表 中小企業で出来る範囲でめいっばいやっている。

Q 社長の仕事(高一郎)は、トラックにF100を運転するつもりはありますか?
A 代表 考えている(近い将来は運転予定)

代表後記

ここでは代表に私が作ったことについて話していたいところがあります。お話ししていただければ幸いです。

「サビエルチーム」によっていよいよ大冊版が発表されました。人の考えや思いを理解し、その「同じ」考えや思いを他の人に伝える、ということとは何ぞか?「一緒に行動を共にしなければならぬか?」というのを聞いています。そういう意味では「仲間」である人は私と一緒に寝食を共にする覚悟を決めた上で話さなければいけません(一?)
一方でサビエルという名称はキリスト教団から取ったのでしょうか、それともマツコ嬢がサビエルに思っているから(一?)でしょうか?ニステリーです・・・
(高一郎代表)